

登録団体活動紹介



手倉田枅取り舞保存会

手倉田枅取り舞とは

手倉田の農家によって五穀豊穡を願い、昔ながらの米づくりの作業を田植えから、収穫、豊作までの喜びを6曲の唄と踊りでつづられたものです。地域に根差した伝統芸能として、また、地域住民の融和のためにも保存し後世に伝承するものです。長年の保存活動が認められ平成19年1月には、名取市無形民族文化財に指定されました。

世代を超えて伝承してきたもの

昭和初期頃の手倉田の部落には62戸の農家が点在しており、農業によって生計を立てていました。当時の農作業は全て手作業で、毎日続く厳しい作業の合間をぬって舞や唄などに打ち込むひとは癒しになり、生きる支えにもなったといえます。厳しい環境の中での手倉田地区の枅取り舞は、お互いに励まし助け合いながら、部落の団結と親睦を保つ重要な役目も果たしつつ連携の証として唄い舞継がれてきました。

芸能文化伝承の要となる後継者が代々受け継ぐ中で、諸先輩方の指導もあり「枅取り舞保存会」が結成され昭和、平成、令和の時代を迎えて現在も地域の有志が継承しています。

子どもたちへの伝承

手倉田地区にある名取市立増田西小学校3年生の総合的学習として枅取り舞が取り入れられており、子どもたちに直接伝承する機会を得ています。枅取り舞保存会では、発表会までの2カ月間、週3回学校で指導します。



練習の様子

テンポよくリズムカルな唄と舞は、子どもたちの印象に強く残り習得も早く、指導にも熱が入ります。学習の成果として毎年、学習発表会3学年の演目として手倉田枅取り舞を披露しています。

指導する期間が短いにもかかわらず、教わった地域の子もたちは数年後でも「枅取り舞のおばちゃん！」と声をかけてくれるとのこと。舞だけでなく、顔まで覚えていてくれることがとても嬉しいと会員のみなさんは口をそろえて話します。子どもたちへの伝承を感じる瞬間でもあり、やりがいにも繋がる手倉田枅取り舞は、単に舞う技術の伝承としてだけではなく、地域融和にも貢献してきた無形民族文化として、しっかりと次世代へ受け継がれていると言えます。

昨年はコロナウイルス蔓延防止のために中止となった学習発表会ですが、今年は11月13日(土)に行われる予定で、子どもたちが元気に舞う姿を楽しみにしています。

会員募集しています

現在、手倉田枅取り舞保存会では一緒に活動してくれる方を募集しています。手倉田にお住まいの方だけでなく、他の地区にお住まいでも歓迎します。お気軽にお声がけください。会員一同お待ちしております。



手倉田枅取り舞保存会 会長 今野慶一
問合せ先 TEL: 022-382-1529 (岩渕)